

令和3年10月14日

職員各位

市長

### 令和4年度予算編成における基本的な考え方

職員の皆さんには、新型コロナウイルス感染症の対応をはじめ、それぞれの職場において市民の皆様のため、日々の業務に尽力していただき大変感謝しています。

また、官製談合防止法違反事件に端を発する市政の混乱により、皆さんに大変なご心配、ご苦勞をおかけしたことは、管理監督者である私の責任であり、改めてお詫びいたしますとともに、市政を停滞させないよう、日々真摯に職務に精励されている職員の皆さんに心から敬意を表します。

さて、国の令和4年度地方財政収支の仮試算(概算要求時)では、「中長期の経済財政に関する試算(令和3年7月21日)」に基づき、令和3年度後半には経済活動の回復ペースが速まると想定し、これによる税収増によって財源不足が解消されると見込んでいます。

しかし、年度後半に入った現在においても、今後の感染状況や経済情勢は予断を許さない状況です。

このような中でスタートする令和4年度の予算編成は、新型コロナ禍によって大きく変化した生活様式の在り方を見据えたものでなければなりません。

そのため、「従前の例に倣ったこれまで通りの予算編成には意味がない」という視点に立ち、より必要な事業に限られた財源を重点的に配分するため、既存の全事務・事業について、中止、休止、延期など、大胆な見直しが必要です。

さらに、新学校給食センター、新保健福祉施設、施設一体型小中一貫モデル校整備事業などの事業本格化に伴う財源を確保していく必要があります。

また、令和4年度は、第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランの最終年度です。

アフターコロナ、ウィズコロナ時代にふさわしい新たな行政ニーズを見極めながら事業見直しに取り組み、次期戦略プランへつながる予算編成としなければなりません。

この状況を乗り切るためには、皆さんの知恵と経験を結集し、龍ヶ崎市が一丸となって取り組むことが肝要です。これまで以上に十分な議論を重ね、最善な予算編成となるよう、奮起を期待します。